



武州多磨郡谷保村

天神宮本社建立三勸進帳

畧縁



毒香山

安楽寺



運とくれ危中も君との所なき  
之位中お夏系道武たき武系  
國谷澤村配流海遊してよりかきて  
夏相と荒所の後乃武義の樂  
慕ひのたきとせきふのちあり  
公冠世名のら宰府に匡と梅を  
あひ月夏相とのさる言と彫刻

聖廟と云く法彦は成と權中  
の奉事と云はるは行納言也在の  
成志と云はるはさきよの天神是  
あり又所美提のたをそく後小  
つとと遠としてより初今の梅香  
山女業の是より後人壬午  
代後多毎元納遠治元年の



寺福人第一良寺の物縁とそ  
常社の修造で備置しうんか  
そと、信縁の檀越は神の守護  
すむしる

延享四年丁卯夏五月二十日

天神別當

安楽寺

堅者慈性誌